

令和元年度 第3回学都仙台コンソーシアム運営委員会議事要録

1. 日時

令和2年1月29日(水) 10時27分～11時26分

2. 場所

宮城学院女子大学 本館3階 第二会議室

3. 出席者

川上伸昭運営委員長(宮城大学)、足立岳志氏(石巻専修大学)(李東勲副委員長代理)、佐直信彦副委員長(仙台青葉学院短期大学)、赤坂和昭委員(尚絅学院大学)、木村昭代委員(聖和学園短期大学)、高橋千恵子氏(仙台白百合女子大学)(小嶋文博委員代理)、高橋仁委員(仙台大学)、千葉昭彦委員<企画部会長>(東北学院大学)、小祝慶紀委員<復興大学部会長>(東北工業大学)、北折整委員(東北生活文化大学・短期大学部)、藤王勉委員<広報部会長>(東北大学)、松本祥子委員(東北福祉大学)、貝山道博委員(東北文化学園大学)、多田晴観委員(東北医科薬科大学)、戸野塚厚子委員(宮城学院女子大学)、岡正明委員<サテライトキャンパス部会長>(宮城教育大学)、村上金男委員(宮城誠真短期大学)、佐藤憲治氏(宮城大学)(武田淳子委員<単位互換部会長>代理)、馬場一隆委員(仙台高等専門学校)、大沼由香委員(仙台赤門短期大学)、新妻直樹委員(宮城県)、芝千紘氏(仙台市)(郷湖伸也委員代理)、豊原之氏(東北多文化アカデミー)(押谷祐子委員代理)、青沼廣利委員(みやぎ工業会)、大坪朋美委員(国立研究開発法人理化学研究所)

以上 「順不同」

(委員数29名/出席数25名)

4. 定足数の確認

事務局より、本会規約により本運営委員会は成立する旨の報告があった。

5. 議事

◆審議事項

1. 令和2(2020)年度事業計画(案)について

【単位互換部会】

単位互換部会長代理の佐藤氏から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。

- ・昨年度から電子媒体で広報を行った効果もあり、今年度は履修者数が300人を超えている。今年度も引き続き電子媒体での広報を予定しているため、広報費は要求しない。

【サテライトキャンパス部会】

岡部会長から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。

- ・人件費については、外部講師の謝金及び交通費を、平成25年度実績で申請している。平成26年度からは使用実績がないため、再来年度以降は改廃の検討が必要である。

【広報部会】

藤王部会長から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。

例年通り、広報サポートスタッフ活動の人的費や、学都仙台コンソーシアムフリーペーパー(G.S.C)、コンソーシアムリーフレットの発行に伴う経費の申請。

【企画部会】

千葉部会長から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。

- ・全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの旅費について、今年度は3名分の予算であったが、来年度は2名分の予算となった。復興を全国にアピールするには3名の参加が望ましいが、コンソーシアム予算から3名を派遣することは難しいことから、復興大学部会に検討していただくこととした。

【復興部会】

小祝部会長から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。

- ・宮城県からの復興大学事業補助金については、30,000,000円を申請している。県より、来年度は補助金交付の最終年度となるため、4年間の総括となる取り組みを行ってほしいとの意見が出された。復興部会で検討、予算組み替えの可能性があるとのこと。

2. 令和2(2020)年度収支予算(案)及び特別会計収支予算(案)について

事務局から、配付資料に基づき一般会計について説明がなされ、提案の通り承認された。続いて、復興大学部会より特別会計収支予算(案)について説明がなされ、提案の通り承認された。ただし、予算組み替えが生じた場合はメール審議とする。

3. 令和2(2020)年度各事業部会長(案)について

事務局から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。

4. 第28回定期総会の議案について

事務局から、配付資料に基づき説明がなされ、提案の通り承認された。第3号議案役員の選任については、現在調整中であり、決まり次第メール審議とすることとした。

5. 後援名義等使用の承認について

事務局より、石巻専修大学開放センターから申請のあった事業名【第3回東北アクティブラーニング・フォーラム】、仙台市危機管理室減災推進課から申請のあった事業名【令和元年度防災シンポジウム・第15回災害に強いコミュニティのための市民フォーラム】、東北工業大学から申請のあった事業名【北海道科学大学・東北工業大学 協働セミナー ―今とこれからの避難を考える―】の後援名義について、配付資料に基づき説明がなされ、承認された。

◆報告事項

1. 各事業部会の活動報告について

【単位互換部会】

単位互換部会長代理の佐藤氏から、配付資料に基づき報告がなされた。

- ・今期履修者数は増加しているが、単位取得者数については例年6割、今年度前期が7割に留まっている。今後、単位取得者数の増加に向けた取り組みが必要である。

【サテライトキャンパス部会】

岡部会長から、配付資料に基づき報告がなされた。

- ・今年度の受講者数は、現時点で過去最高であった前年度を上回る結果となった。
- ・学生の受講者が、前年度に比べて15%上昇している。これは、今年度新規入会した仙台赤門短期大学の在籍学生が多く受講しているためである。
- ・講座の満足度については9割以上の学生が「大変満足」「満足」と回答し、理解度についても同様の結果となっている。

【広報部会】

藤王部会長から、配付資料に基づき説明がなされた。

- ・広報サポートスタッフの推薦依頼について、各大学に協力依頼がなされた。
- ・広報サポートスタッフの人数は年々減少している。募集方法について、電子媒体を使用する等の工夫が必要とのこと。

【企画部会】

千葉部会長から、配付資料に基づき説明がなされた。

- ・イオンモール雨宮でのリカレント教育事業について、今年度は調査活動を主として取り組んできたが、来年度は実働に向けて取り組むため、各加盟団体に協力依頼がなされた。
- ・FD・SD研修について、情報提供の依頼がなされた。

【復興部会】

小祝部会長から、配付資料に基づき報告がなされた。3月10日(火)江陽グランドホテルにおいて開催される復興大学公開シンポジウムについて周知がなされた。

2. 後援名義等使用の事業報告書について

事務局より、NPO 法人 natural science から申請のあった、事業名【学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2019】について、事業終了の報告があった。

◆その他

1. 事務局より、第28回定期総会を、2月27日(木)10時30分から仙台国際ホテルにおいて開催する旨の報告があった。

以上